

# 世界で活躍するために

実践場所	徳島県	名西郡石井町石井中学校	実践者	加藤 紘子
対 象	中学2年生		時間数	4時間
担当教科	英語		実践教科	英語、総合的な学習の時間
ねらい	・自分が持っているイメージと実際とのギャップを体感する。 ・多様な価値観があることを知り、自分を客観的に見つめ直す。 ・自分にできることを考え、行動に移すきっかけにする。			
実践内容	回	プログラム		備 考
	1	【エチオピアってどんな国】 ・首都、人口、面積、平均気温などの基本情報を得る。 ・エチオピアの人々への質問を考え、アンケートを作る。 ・エチオピアのイメージを絵に描いてみる。(イメージマッピング)		地図帳  画用紙
	2	【エチオピアの実際】 ・自分が描いた絵に説明を加え、紹介する。 ・実際の写真を見て、エチオピアの衣食住や自然について話し合う。(フォトランゲージ) ・伝統的な衣装や食品、工芸品に実際に触れてみる。 ・自分のイメージと実際の写真とのギャップをまとめる。		写真  購入品
	3	【エチオピアと日本】 ・エチオピアの小学生のインタビュー映像を見る。 ・エチオピアの中2問題に挑戦する(英語・理科) ・英語教育や理数科教育を重視している理由を考える。 ・エチオピア、日本でとったアンケートをもとに、双方の国における考え方を比較し、多様な見方があることを知る。		教科書
	4	【世界で活躍するために】 ・どんな仕事があるかを聞き取る。 ・世界で活躍するためには何が必要かを考える。 ・自分の目標を設定する。 ・Unit3”My Future Job”の内容と関連づける。		隊員へのインタビュー映像
成 果	・自分が持っているイメージと実際とのギャップを実感することができた。 ・多様な文化や価値観があることを知り、自分たちの生活を客観的に見つめ直すことができた。 ・自分の特技や特性を再確認することができた。			
課 題	今回の学習で感じたことをどのように生かしていくのか、行動に移すまでの過程を継続的に見守る必要がある。			

## 備考

理数科教育隊員の協力で、現地小学校との文通が計画されている。この文通が生徒にどのような変化をもたらすのか、楽しみにしたい。

## 〔授業実践の詳細〕

### 1 時限目「エチオピアってどんな国」〔基本情報を得る〕

#### 1 子どもの活動の流れ

- ①エチオピアに関するクイズに答える＜教材1＞
- ②自分が興味のあることについてエチオピアの人々への質問を考える。
- ③ エチオピアのイメージを絵に描いてみる。（イメージマッピング）＜教材2＞

#### この時限のねらい

- ・エチオピアに興味・関心を持つ。
- ・エチオピアに対するイメージを表現する。

#### 2 子どもの活動の成果・反応

◇地理的な条件から、平均気温やさかんなスポーツなどを自分たちで考えて解答することができた。

未知の国だったので、それほど大きな反応はなかった。

◇エチオピアの人々の生活について関心をもつことができた。

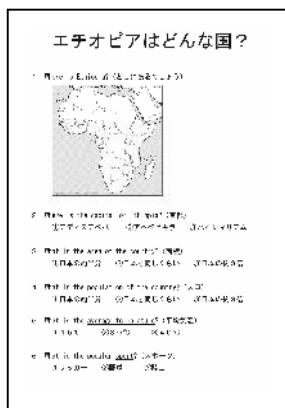
生徒が作った質問の中には、食事や同世代の子どもたちに関する内容が多かった。

◇自分の中にあるエチオピアのイメージを絵で表現することができた。

自然に関する絵が大半を占めた。

#### 3 使用した教材

＜教材1＞エチオピアはどんな国？



＜教材2＞イメージマッピング



## 2 時限目「エチオピアの実際」【イメージギャップ】

### 1 子どもの活動の流れ

- ①前時に描いた絵をもとに、自分が持っているエチオピアのイメージを口頭で紹介する。
- ②写真を使って、実際のエチオピアについて学ぶ。(フォトランゲージ)＜教材3＞
- ③エチオピアの食材を試食する。＜教材4＞

#### この時限のねらい

自分が持っていたエチオピアのイメージと、実際の写真との違いを認識する。

### 2 子どもの活動の成果・反応

◇自然を中心としたイメージが共通していた。

イメージは限定的で、個々の広がりあまり感じられなかった。

◇写真に写っている物や場所、人物を想像しながらエチオピアについて理解を深めることができた。

初めて見る物ばかりで、ギャップと言うよりは驚きのほうが強かった。

◇見た目での食べやすさと実際の味は異なっているようだった。

コーヒー、コロ(大麦を煎ったもの)の反応は良かったが、乾燥インジェラはほとんどの生徒が食べられなかった。

### 3 使用した教材

＜教材3＞フォトランゲージ



＜教材4＞食材



### 3 時限目「エチオピアと日本」【共通点と相違点】

#### 1 子どもの活動の流れ

- ①エチオピアの映像を見る。(コーヒーセレモニー、ダンス、市場、結婚式の様子など)
- ②エチオピアの中学2年生の教科書問題に挑戦する。(理科・英語)
- ③エチオピアと日本でとったアンケートをもとに、双方の共通点、相違点をまとめる。〈教材5〉

#### この時限のねらい

- ・エチオピアと日本の共通点、相違点を見つける。
- ・多様な価値観があることを知る。

#### 2 子どもの活動の成果・反応

◇自然や人々の様子を見ることができた。

自然の豊かさや、ゆったりとした時間の流れを感じ取ったようだ。

◇なぜ理数科教育や英語教育が重視されているか、その背景を理解できた。

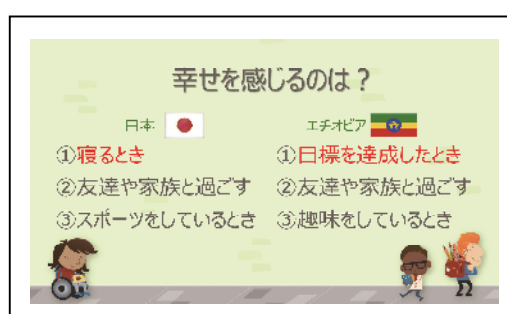
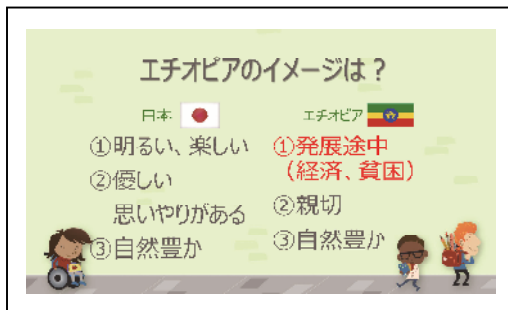
エチオピアの中学生を尊敬している様子だった。

◇エチオピアと日本の共通点、相違点に気づくことができた。

思いやりや自然などの共通イメージ、食文化や生活様式の違いが特に気になったようだ。

#### 3 使用した教材

〈教材5〉アンケート結果



### 1 子どもの活動の流れ

- ①青年海外協力隊9名のインタビュー映像を見て、仕事内容を書きとる。(理数科教師、学芸員、販売促進、デザイン、看護師など) 9人の共通点を考える。〈教材6〉
- ②自分の得意分野は何か考える。

### 2 子どもの活動の成果・反応

- ◇言語を学ぶだけでなく、専門性を高めることの大切さに気づけた。  
隊員の生き生きとした様子が印象に残ったようだ。
- ◇自分の特性を見つめ直すことができた。  
何にすべきか絞りきれない生徒もいた。

### 3 使用した教材

〈教材6〉世界で活躍する日本人

世界で活躍する日本人	
* 9名のインタビュー映像を見て、それぞれの仕事内容をきましょう。	
仕事内容	
1	山田さん
2	佐藤さん
3	鈴木さん
4	田中さん
5	山本さん
6	佐々木さん
7	高橋さん
8	鈴木さん
9	山田さん
* 日本人で活躍することは可でしょう。	
<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	
* これからの未来をきましょう。	
私は	<input type="text"/> 夢があるぞ!

#### この時限のねらい

- ・世界で活躍するために必要な要素を考える。
- ・自分の得意なことに気づき、伸ばそうとするきっかけを作る。

■全体を通して

**1** 授業の様子

＜写真1＞フォトランゲージの様子①



＜写真2＞フォトランゲージの様子②



＜写真3＞コーヒーを試飲中



**2** 参考文献・資料

なし